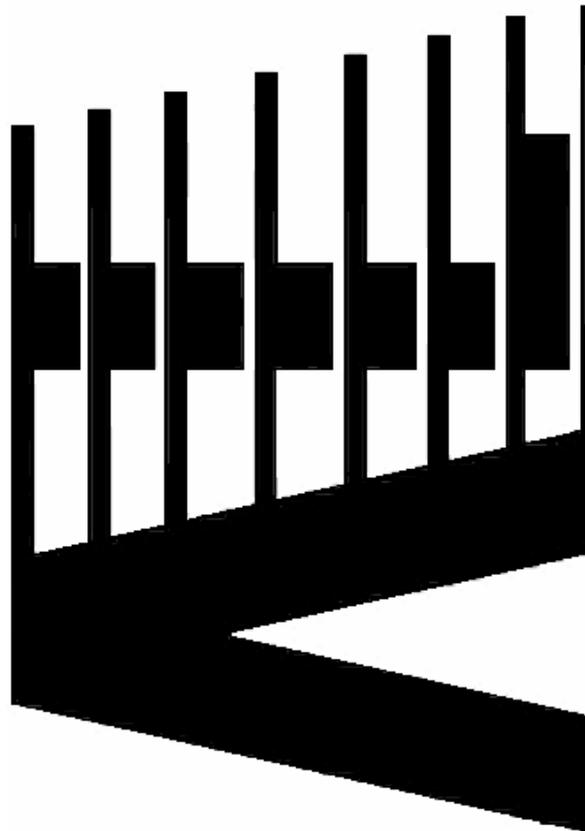
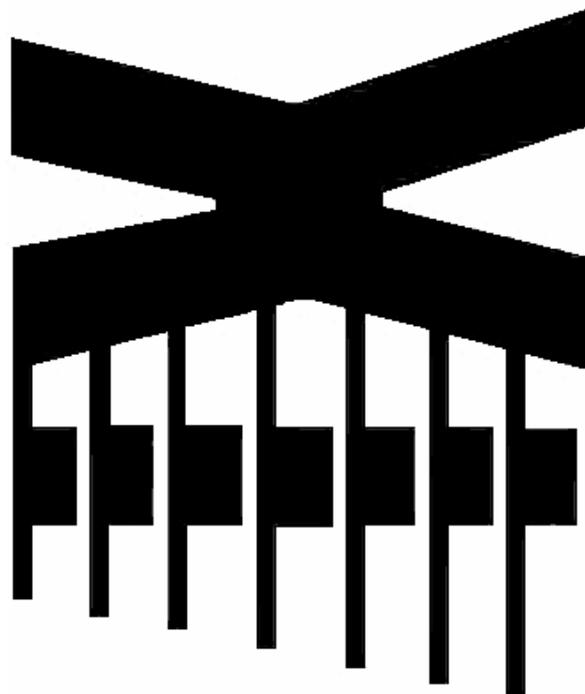


“アルビクス”「パカパカ」チェッカー VAD-300
V/A ERROR DETECTION UNIT VAD-300

ハードウェア
取扱説明書 Ver2.0



御使用前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為に指示に従って下さい。

もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目 次

注意事項	2
1. 主な機能と特長	3
2. 仕様	4
3. 各部の名称と機能	5
4. 接続方法	7
5. IPアドレスの設定	8

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所
安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1. 主な機能と特長

1. 1 VAD-300の特長

- ◇「アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」に抵触する、映像や光の点滅、コントラストの強い画面反転、急激な輝度変化などの「パカパカ」を検知し、LANインタフェース（RJ-45）にて外部へ通知します。
- ◇「パカパカ」を検知したシーンをキャプチャしPCにAVIファイルとして取り込むことができます。
- ◇フリーズ、ブラックアウト、無音、レベル異常など基本的な映像／音声のエラーも検知し通知します。

2. 仕様

◆映像入力信号

入力信号数	: 1 系統		
信号形式	: 映像	: HD-SDI	SMPTE292M 1080i
		: SD-SDI	SMPTE259M-C 480i [D1]
	: 音声	: インベデッドオーディオ	48kHz 16bit 8ch (HD-SDI時)
			48kHz 16bit 4ch (SD-SDI時)
	: 外伝送	: HD-SDI	VITC/LTC (インベデッド)
		: SD-SDI	VITC (VBI)
入力接栓	: BNCコネクタ		

◆外部通知

通信仕様	: 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インターフェース
プロトコル	: SNMP
コネクタ	: RJ-45モジュラ

◆キャプチャ

インターフェース	: USB2.0
録画解像度	: 320×240または160×120
ファイル形式	: AVI
コネクタ	: USBコネクタBタイプ

◆管理運用・キャプチャソフトウェア動作環境

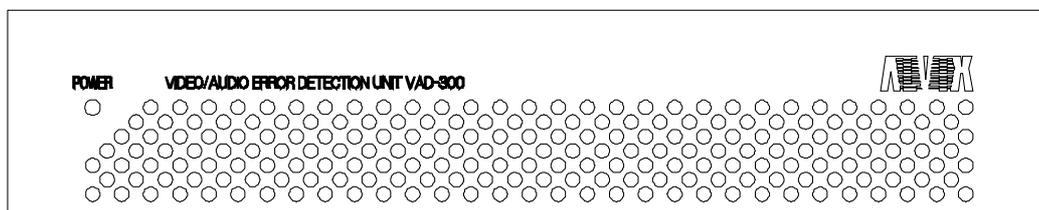
インターフェース	: USB2.0
OS	: WindowsXP SP2
CPU	: Pentium4 1.6GHz以上
RAM	: 1GB以上
ディスプレイ	: 1024×768ドット以上
※DirectX9.0以上に対応した機種	

◆外形寸法 : W215 × H44 × D490 mm (1U ハーフサイズ)

- ◆重量 : 約 3 kg
- ◆電源電圧 : 100V±10% AC 50/60Hz
- ◆消費電力 : 約 25 W
- ◆使用温度 : 5℃ ~ 40℃

3. 各部の名称と機能

<筐体フロントパネルの機能>



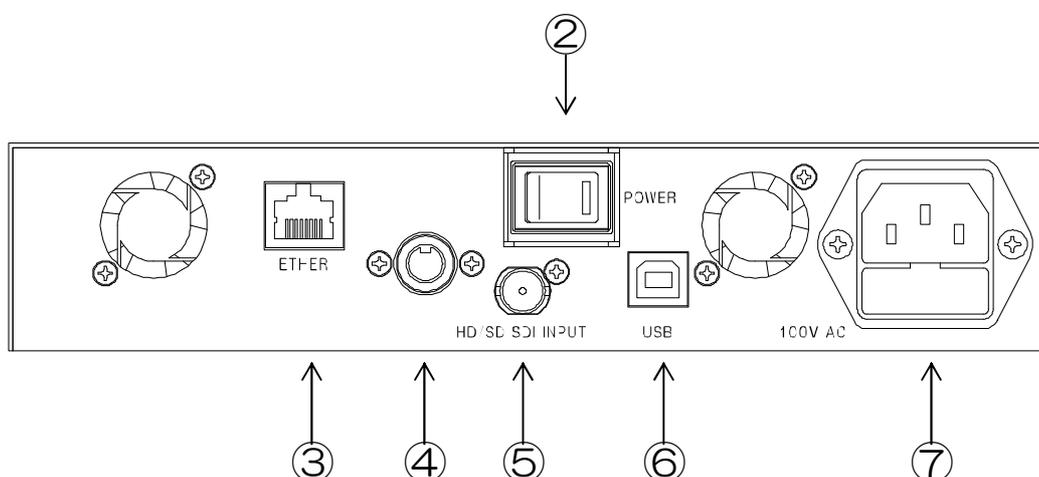
1. POWER

電源LEDです。

電源が投入されている場合、次のように点灯します。

- ・ HD-SDIが入力されている場合 : 常時点灯
- ・ SD-SDIが入力されている場合 : 3秒点灯、1秒消灯の繰り返し
- ・ 入力が無い場合 : 1秒点灯、3秒消灯の繰り返し

<筐体リアパネルの機能>



2. POWER

電源スイッチです。電源が投入されるとLEDが点灯します。

3. ETHER

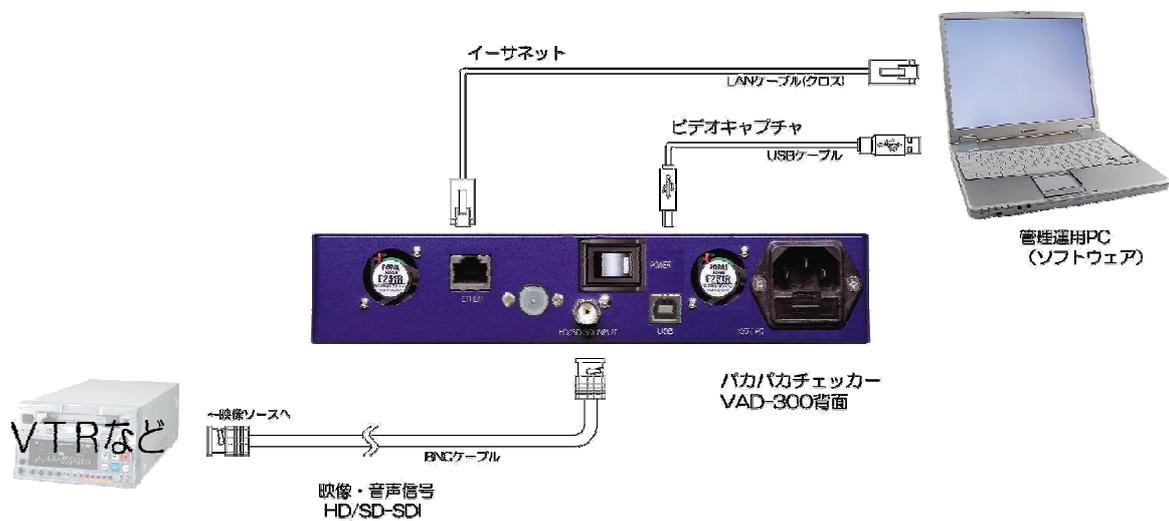
100BASE-TX/10BASE-T対応のLANコネクタです。外部PCとのSNMP通信に使用します。

4. メンテナンスコネクタ

通常使用しません。キャップを取り外さないで下さい。

5. HD/SD-SDI INPUT
SDI映像入力コネクタです。
映像機器のSDI信号出力と接続します。
6. USB
ビデオキャプチャのためのUSBコネクタです。
7. 100V AC
AC入力(3Pインレット)です。

4. 接続方法



5. IPアドレスの設定

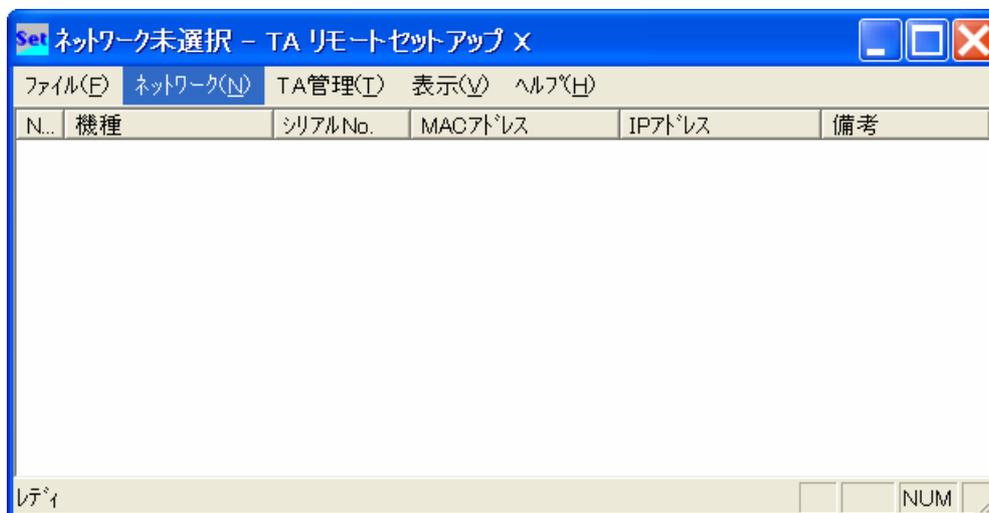
5. 1. VAD-300のIPアドレスの設定

VAD-300のIPアドレスは、専用ツール” TASetupX” で変更します。

- 1) VAD-300のETHERコネクタと Windows PC を、LAN 経由で接続で接続し、VAD-300の電源を投入します。(クロスケーブル直結またはHUB 経由)

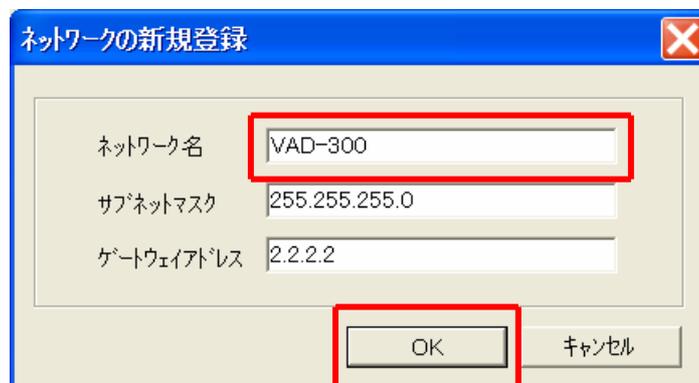
※PC のOS が WindowsXP サービスパック 2 の場合は、ソフトの起動前に Windows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。

- 2) Windows PC 上で “TASetupX.exe” を起動します。



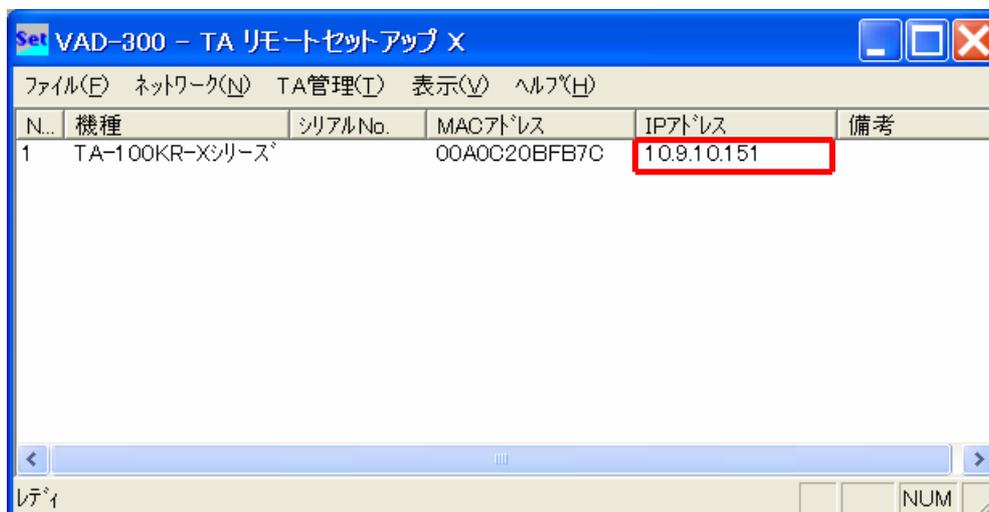
- 3) 初回のみネットワーク名称の登録を行う必要があります。

[ネットワーク]->[新規登録]をクリックします。

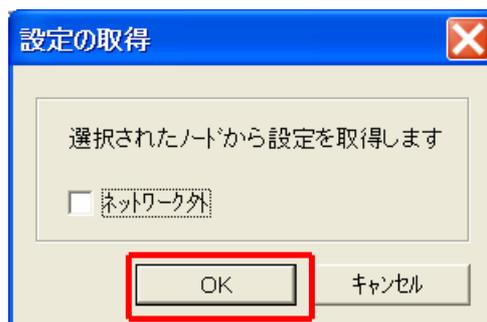


ネットワーク名に VAD-300 と入力し、[OK]をクリックします。

- 4) [TA 管理]->[その他の検索]->[リフレッシュ検索]をクリックし接続されている VAD-300を検索します。PCとVAD-300の接続が完了していると、次のように該当するVAD-300のIPアドレスが表示されます。



- 5) 表示された IP アドレスの行をダブルクリックすると、設定の取得画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



6) 設定取得画面が表示されます。

The screenshot shows a configuration window titled "TA-100KR-Xシリーズの設定取得". It is divided into three main sections: LAN設定, シリアル設定, and システム設定. In the LAN設定 section, the "自IPアドレス" field is highlighted with a red box and contains the value "10.9.10.151". Other fields in this section include "自ポート番号" (257), "宛先IPアドレス" (2.2.2.2), "宛先ポート番号" (514), "サブネットマスク" (255.255.255.0), "ゲートウェイアドレス" (2.2.2.2), "キーフアライブタイム" (0), "コネクタタイム" (2), "通信リカフラグ" (無効), "無通信監視タイム" (0), "ユーザ名", "パスワード", "フィルタマネータ", "オートネゴシエーション" (自動), and "MTU値" (1500). The シリアル設定 section includes "ボーレート" (9,600bps), "データ長" (8ビット), "ストップビット" (1ビット), "パリティ" (なし), "フロー制御" (なし), "コネクション情報通" (無効), "コネクション監視" (無効), "アイドルタイム" (0), and "レコタマネータ" (ODDA). The システム設定 section includes "LANデフォルトプロトコル" (FtpSv), "RSデフォルトプロトコル" (Serial), "BOOTP有効フラグ" (無効), "DHCP有効フラグ" (無効), "起動プログラム名" (設定画面), "汎用設定項目" (設定画面), "SNMP設定" (設定画面), and "動作モード (取得のみ)" (通常動作0). At the bottom, there is a checkbox for "ネットワーク外" and a "送信" button, which is highlighted with a red box. A "戻る" button is also present.

7) [自 IP アドレス] 欄（上記画面の赤枠部分）の IP アドレスを変更し、
「送信」ボタンをクリックします。

この時、[自 IP アドレス] 以外の項目は絶対に変更を行わないで下さい。

（エラー検出基板が正常に動作しなくなります）

8) IPアドレス設定の変更を行った場合は前出の[リフレッシュ検索]を行い、変更後の
IPアドレスを確認して下さい。

5. 2. Trap先IPアドレスの設定

1) 前項と同様の手順で、設定取得画面を表示します。

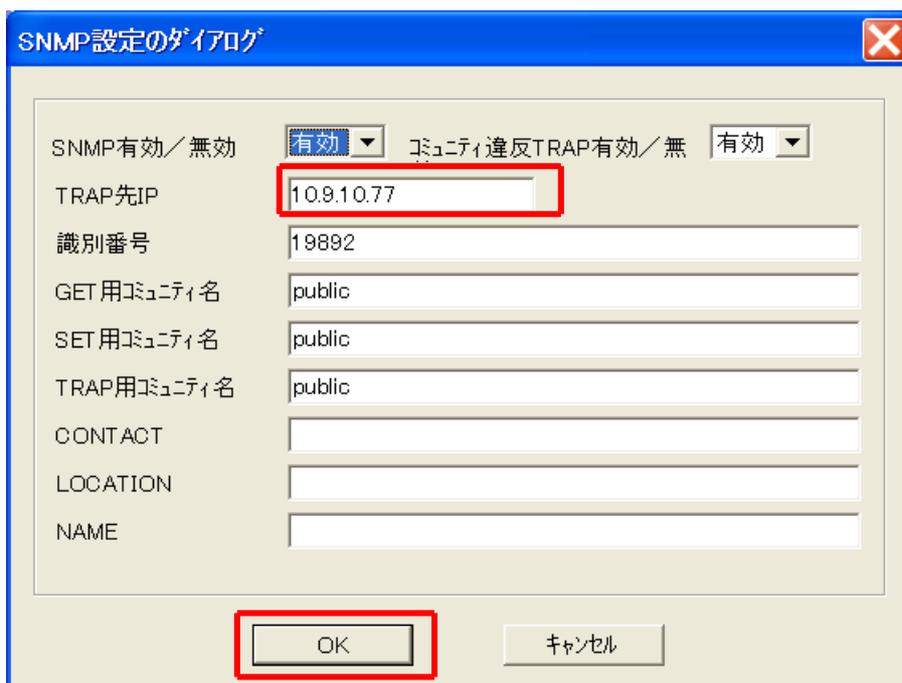
The screenshot shows the 'TA-100KR-Xシリーズの設定取得' (TA-100KR-X Series Configuration) window. It is divided into three main sections: LAN設定, シリアル設定, and システム設定.

- LAN設定:** Includes fields for self IP address (10.9.10.151), self port number (257), trap destination IP address (2.2.2.2), trap port number (514), subnet mask (255.255.255.0), gateway address (2.2.2.2), keep-alive time (0), connect time (2), communication flag (無効), no communication monitoring time (0), user name, password, filter name, auto negotiation (自動), and MTU value (1500).
- シリアル設定:** Includes baud rate (9,600bps), data length (8ビット), stop bits (1ビット), parity (なし), flow control (なし), connection information (無効), connection monitoring (無効), idle time (0), and loopback mode (0D0A).
- システム設定:** Includes LAN default protocol (FtpSv), RS default protocol (Serial), BOOTP flag (無効), DHCP flag (無効), start program name (設定画面), frequently used setting items (設定画面), SNMP setting (設定画面 - highlighted with a red box), and operation mode (通常動作).

At the bottom, there is a checkbox for 'ネットワーク外' (Network Off) and buttons for '送信' (Send) and '戻る' (Back).

2) 設定取得画面で「SNMP 設定」[設定画面]ボタン（赤枠部分）をクリックします。

3) 「SNMP 設定」 ボタンをクリック後に下記の画面が表示されます。



SNMP設定のダイアログ

SNMP有効/無効	<input type="button" value="有効"/>	コミュニティ違反TRAP有効/無	<input type="button" value="有効"/>
TRAP先IP	<input type="text" value="10.9.10.77"/>		
識別番号	<input type="text" value="19892"/>		
GET用コミュニティ名	<input type="text" value="public"/>		
SET用コミュニティ名	<input type="text" value="public"/>		
TRAP用コミュニティ名	<input type="text" value="public"/>		
CONTACT	<input type="text"/>		
LOCATION	<input type="text"/>		
NAME	<input type="text"/>		

4) [TRAP先IPアドレス]を変更し、[OK]をクリックします。

この時、[TRAP先IPアドレス]以外の項目は絶対に変更を行わないで下さい。

(エラー検出基板が正常に動作しなくなります)

5) 設定取得画面に戻った後、設定取得画面の「送信」ボタンをクリックします。

5. 3. 複数のIPアドレスをTrap先に設定する方法

1) 前項と同様の手順で、設定取得画面を表示します。

The screenshot shows the 'TA-100KR-Xシリーズの設定取得' (TA-100KR-X Series Configuration) window. It is divided into three main sections: LAN設定 (LAN Settings), シリアル設定 (Serial Settings), and システム設定 (System Settings). The LAN settings include fields for self and gateway IP addresses, ports, subnet mask, and gateway address. The serial settings include baud rate, data bits, stop bits, parity, and flow control. The system settings include LAN and RS default protocols, BOOTP and DHCP flags, and buttons for setting various parameters. The '汎用設定項目' (General Settings) button is highlighted with a red box.

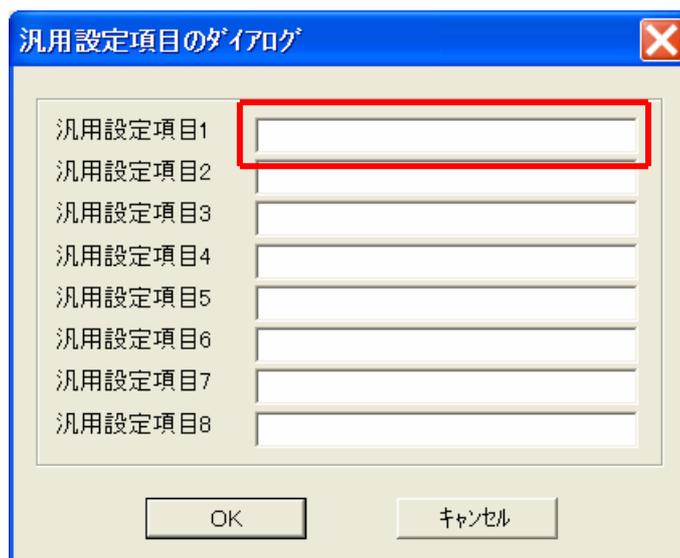
Section	Parameter	Value
LAN設定	自IPアドレス	10.9.10.151
	自ポート番号	257
	宛先IPアドレス	2.2.2.2
	宛先ポート番号	514
	サブネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイアドレス	2.2.2.2
	キーフアライブタイム	0
	コネクタイマ	2
	通信トリガフラグ	無効
	無通信監視タイマ	0
シリアル設定	ボーレート	9,600bps
	データ長	8ビット
	ストップビット	1ビット
	パリティ	なし
	フロー制御	なし
	コネクション情報通	無効
	コネクション監視	無効
アイドルタイマ	0	
レポートタイマ	000A	
システム設定	LANデフォルトプロトコル	FtpSv
	RSデフォルトプロトコル	Serial
	BOOTP有効フラグ	無効
	DHCP有効フラグ	無効
	起動プログラム名	設定画面
	汎用設定項目	設定画面
	SNMP設定	設定画面
動作モード (取得のみ)	通常動作0	

ネットワーク外

送信 戻る

2) 設定取得画面で「汎用設定項目」[設定画面]ボタン（赤枠部分）をクリックします。

3) 「汎用設定項目」ボタンをクリック後に下記の画面が表示されます。



汎用設定項目のダイアログ

汎用設定項目1	<input type="text"/>
汎用設定項目2	<input type="text"/>
汎用設定項目3	<input type="text"/>
汎用設定項目4	<input type="text"/>
汎用設定項目5	<input type="text"/>
汎用設定項目6	<input type="text"/>
汎用設定項目7	<input type="text"/>
汎用設定項目8	<input type="text"/>

OK キャンセル

4) [汎用設定項目]にTRAP先IPアドレスを記入し、[OK]をクリックします。
最大8アドレス指定することができます。

5) 設定取得画面に戻った後、設定取得画面の「送信」ボタンをクリックします。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038